

# 次代を担う子供たちを育て、すべての人が生涯を通し学習していくまち

地域の  
特色ある  
活動

## 千葉県茂原市教育委員会

### 1 はじめに

茂原市は、千葉県のほぼ中央にあり、年間を通し温暖な気候に恵まれ、豊富で良質な地下資源である天然ガスと首都圏まで60 km圏内という立地条件を生かし、農業・商業・工業などバランスのとれた産業に支えられて、発展を続けてまいりました。また、平成25年3月には首都圏中央連絡自動車道（通称：圏央道）が開通し、成田・羽田両空港へのアクセスも一段と向上し、さらなる発展が期待できるところです。

### 2 読書活動の推進

茂原市教育委員会では、平成28年3月の「第三次茂原市子ども読書活動推進計画」の策定に合わせ、同年4月より学校図書館の整備に着手しました。

多くの学校において古い図書と新着図書が別置され、日本十進分類法による体系的な図書の配列ができていなかった学校図書館の全蔵書を点検し、除籍候補図書の除架を行いました。また、「学校図書館資料収集方針」と「同除籍方針」を策定し、学校図書館用図書の仕様書を作成して納入される図書の標準化を図り、さらに国の交付金を活用して調べる学習用図書の整備を進め、図書の配架修正も実施しました。その結果、「読書センター」だけでなく、学校図書館の「学習・情報センター」としての役割も果たせるようになってきました。

この他にも、モデル校4小学校の蔵書を

データベース化し、非常勤の学校司書を配置し読書指導や授業支援に取り組むだけでなく、今後の学校司書配置校の拡充に資するために学校司書の支援内容をデータベース化しているところです。

また、読み聞かせ等のボランティア活動も活発であるため、スキルアップ研修会を毎年実施し、児童の読書意欲の向上につなげているところです。

### 3 愛のひと声から、人づくり

心を育む活動機関の一つに青少年指導センターがあります。青少年の実態から「連携」と「相談」の二つを現在の重点課題として活動しています。「連携」については、家庭と地域、関係機関とのつながりを大事にしています。情報共有を柱に、様々な方法で互いに補いながら実践しています。補導業務では、すばやく・じっくり、社会みんなをみる人間関係づくりができるよう働きかけています。相談につきましては、対象者の心に働きかけ、心をもって対応できるよう努めています。もちろん何でもかでも受け入れるのではなく、ダメなものはダメと伝える工夫は必須です。

小中高生たちが、「行ってきます」「ただいま」と声をかけると「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」と声が返ってくる安全で安心なまちの人づくりをどんどん広めながら、心豊かな人づくりは進行中です。「10年後、20年後の自分には明るい未来が待っています」と市民に答えてもらえるまちづくりを推

進し、老若男女問わず、みんなが心の底から感じる、元気で笑顔の「もばら」「やればできる」です。

#### 4 タッチバレーボール～茂原市発祥のスポーツ～

本市では、以前プロバレーボールのVリーグチームが活躍し、2005年には高校総体、2010年には千葉国体のバレーボール競技会場になるなど、バレーボールに対して縁の深い土地柄もあり、市民活動も盛んなことから、2016年3月に茂原発祥の競技「タッチバレーボール」が誕生しました。

本競技は、子供から高齢者まで一緒に安心してプレーできるよう、軽いビニールボールを使用し、「ボールにタッチする」感じで相手コートに返すことからこの名称となりました。

ルールは比較的優しく、1チーム4人編成でバドミントンのコートを使用し、3回以上5回以内で相手に返します。通常のバレーボールより速度が出にくいいためラリーが続きますので運動量が豊富です。

毎年7月に、もばらタッチバレーボール千葉県大会を開催し、老若男女・体力・年齢にかかわらず参加者全員が楽しめるよう、5部門に分け実施し、開催ごとに参加チームも増え好評をいただいています。

本市では、上記のタッチバレーボールも含め、「市民ひとり1スポーツ」を合言葉に、“スポーツを楽しみ健康で活気あるまち茂原”の実現に向けた努力を重ねつつ、市民一人一人が健康で明るい生活を送ることができるま

ちを目指しています。



#### 5 夏休み子ども教室

本市では、夏休み期間中の子供の居場所づくりと異年齢交流を目的に、平成22年度から、「夏休み子ども教室」を開催しています。

平成29年度は市内の5小学校において、地域の方々や高校生、大学生などのボランティアの協力をいただき、昔遊びや工作教室、タッチバレーボールなどの体験活動やレクリエーションを実施し、平成30年度はこの原稿を書いている8月現在、6小学校で開催しています。

子供たちが、学年の違う子供や地域の方々と共に遊び、学習することで、人とのかかわり方を学んで自主性を育てていく、大変有効な機会になっています。

また、地域の方々が参画することで、子供たちへの理解が深まり、地域全体が一体となって子供たちを見守る環境が作られていくものと期待しているところです。

これらの活動を通し、地域コミュニティで子供たちを育て、郷土を愛する心を育成させてまいりたいと考えています。

#### 6 おわりに

茂原市教育施策の大綱に基づき、取り組んでおります施策を今回紹介させていただきました。

本市の大綱では、社会を生き抜く力の育成、心を育む人間教育の推進、芸術・文化・スポーツの振興、茂原を愛する心の育成の4つの柱を掲げ、その他の施策についても目標達成のための対策を実施しています。

大綱も策定から3年目を迎え折り返し地点となりました。今後も、市長と教育委員会とが協力して目標実現のため鋭意努力してまいりたいと考えています。

教育長

内田達也

